

鬼北町立広見中学校

道徳通信

道徳主任 酒井 智有

NO. 51

令和8年3月13日発行

# よりよく生きる

## 3年間の道徳の授業を終えて

3年生は、道徳の授業の最後に、3年間の道徳を振り返って考えたこと、学んだことを書いてもらいました。何名かの内容を紹介いたします。



3年間の道徳の授業を通して、人の気持ちを考えることの大切さを学びました。今までは、自分のことを優先してしまうこともありましたが、授業でいろいろな話を聞いたり、考えたりする中で、相手の立場に立って考えることが大切だと気付きました。周りに流されず、自分の意見を持つことの大切さも学びました。これからは、学んだことを日常生活でも意識して行動したいです。

僕が、3年間の道徳で学んだことは、題材を読んで考えることは、人によって全く違うということです。みんなで意見を共有するときに、自分では全く考えていなかったような意見がよく出てきました。自分では思い付かないような考えを、道徳の時間に知ることができるのはとてもよいことだと思います。いろいろな意見を知ること、自分の考え方も広がったような感じがします。また、道徳の話の中には、自分の将来に必ず関わってくるような内容もあったので、そのような話も心に残っています。僕も、これからいろいろな経験をして、考えを広げていきたいと思いました。

私は、道徳の授業でたくさん話を聞いて、たくさん学ぶことができました。家族や友達のこと、人間性、多様性など、様々なことについて勉強することができました。道徳には、決まった答えがありません。友達と意見交換をする中で、たくさん考えを知ることが、とても楽しかったです。道徳の授業で、友達と意見交換をしながら考えることによって、自分のことについてももしっかり考えることができ、今までとは違う考え方を持つことができるようになったと思います。

私は、3年間の道徳の授業を通して、たくさんのことを深く考えていくことができました。自分の将来のことや、世界のこと、歴史について……。道徳の授業がなければ、考えられなかったことがたくさんあります。その中でも、私が一番印象に残っているのは、アウシュビッツ強制収容所とユダヤ人についての話です。社会と道徳の授業で学習し、私も個人的に調べて学習しました。しかし、それでもうまく想像ができませんでした。それほど、現実とはかけ離れた残酷なことが行われていました。そんなことがあったのに、今でも世界では戦争や人権問題があります。世界が平和になるのは、簡単ではないと感じました。私は、差別意識をなくしたり、人に優しくしたりしようと思いました。私がこのように考えたり感じたりすることができるのは、小さい頃から学んできた道徳の授業のおかげだと思っています。大人になっても、学び続け、こうした考え方を大切にしていきたいです。

他の3年生も、いろいろな感想をしっかりと考えて書いていました。3年間の道徳の授業が、充実していたのだなということを感じました。3年生には、ぜひ広見中学校での道徳の学びを生かし、これからもよりよく生きることを通して、人生を豊かに過ごしてほしいと思います。1・2年生の皆さんも、来年度の道徳の学習を充実させ、自己を高めていきましょう！！！！